

令和6年度 学力向上指導改善プラン

学校教育目標		人間尊重を基盤とし、確かな学力と豊かな心でたくましく生きぬく生徒の育成	
推進主体		研究推進委員会	
学力に関する前年度の状況・経年の課題等			
学力の状況	全国学力・学習状況調査結果の状況 (国語、算数・数学に関する質問紙調査の結果も含む)	国語	・国語は、読むことの領域で文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉え、要旨を把握することを問う設問では、正答率が高く、読むことに主体的に取り組もうとする意欲が見られた。 ・書くことについても、自分の考えが伝わる文章になるように根拠を明確にして書くことに取り組む傾向が見られた。 ・情報を処理して、文章を構成する力に課題が見られる。文章を書く機会を増やし、丁寧な添削の指導により、言葉に関心を持って文章にする力を高める点に課題がある。
		算数 数学	・資料読み取って情報を処理し、適切なものを選択することにはまだ課題が見られた。 ・「箱ひげ図」の解き方の理解が低く、既習事項を活用して発想をすることに課題がある。
	定期テスト、単元テストなどによる状況(各教科)	・学校評価の「基礎学力の定着に向けた取り組み」については、90.6%の生徒が肯定的な回答をしている。タブレットを活用した基礎学習を朝学習や長期休業、家庭学習の課題として取り入れるなどの工夫をしたことが成果をあげつつある。 ・定期考査前に、落ち着いて学習に取り組むことができるよう、課題の提出の時期や内容、分量の調整を行うことで、学習に向かう機会を継続させることができている。	
	授業等からうかがえる状況(各教科)	・学校評価アンケートにおける「授業がわかりやすい」の肯定的評価は、生徒が90%、保護者が78%であった。授業改善に向けた取り組みの方向性については肯定的だが、引き続き全体で研修、研究を進め、授業向上を図っていく。 ・タブレットを有効に使う機会を検討し、「主体的・対話的な学び」を実現するための授業に取り組んでいく。	
学力生活向上に 係るの学習習慣	全国学力・学習状況調査の質問紙の状況	・総合的な学習の時間に、自分で課題を立てて情報を集めて整理し、調べたことを発表する学習活動は、比較的豊富に行うことができている。 ・自分の考えを資料や文章を活用して発表する機会や、学習内容を生かして、自分の考えをまとめる活動が、十分取り組んでいるとはいえない。 ・ICT機器を有効的に学習に活用できている生徒が多い。学習の習慣をつけるとともに、自分の考えを資料や文章を活用して、構成して発表する機会を増やしていく必要がある。	
	学校評価などのアンケート調査による児童・生徒の状況	・学校評価アンケートの「教師は、生徒のことを良く理解し、適時・適切に指導している」「生徒の個性を大切に、一人ひとりに活躍の機会と場がある」については、生徒の肯定的評価上昇しているが、保護者の肯定的割合との間に差がある。	
授業改善	・主体的・対話的で深い学びを目指した授業改善 ・ICT機器を効果的に活用(クラウド環境を活かした授業実施等)	・タブレットの活用により、ICTによる情報の収集、それをもとに自分の考えをまとめる学習やプレゼンテーションを各教科で実施した。 ・学習課題について、自身の考えを他者と比べたり、より良い考えを生み出すなどといったコミュニケーション活動を通して、生徒の思考を高めた。 ・各授業の板書を撮影し、全生徒に配信することで授業の見直しができる状況を整えている。また、書くことに時間がかかる生徒にとっても自分のペースで学習を進める個に応じた学習が可能になっている。 ・ドリルパークを朝学習で積極的に活用しており、基礎・基本の定着を図ることができている。	
校内研究 状況・研修の	校内研究の状況	・評価の在り方についての研修や特別支援教育、生徒指導、生徒理解についての研修を実施した。	
	校内研修の状況	・通級生徒については、学校生活支援教員との連携を図り、指導に生かした。 ・教育相談アンケート(ハイパーQU)を実施した後に研修会を行って、生徒理解や対応に生かすことができた。	
家庭・校種間連携	家庭・地域等の状況	・デジタルシチズンシップ授業を行い、ICT機器の使い方について正しく判断できる必要性について考えることができた。 ・制服や校則、指定カバンの変更に向け、生徒、保護者の意見を聞いて進めた。	
	小・中における教科連携等の状況	・生徒会が中心となり中学校生活に係る出前授業を実施した。また、中学校教員による小学校への出前授業も実施した。	

4月		2～3月	
学力向上に向けての重点的な目標	成果となる目標	具体的な行動目標	年度末評価
	(指標となる数値等)	(成果目標達成のための具体的な手立て等)	(今年度の成果と来年度に向けた課題等)
1 基礎学力が定着する取組の推進	2 自学・自習の習慣が定着する取組の推進	3 生徒が主体となる授業の創造 ～主体的な学びを支援する授業実践～ ・論理的思考力の育成 ・批判的思考力の育成 ・自己分析力(メタ認知)の育成	評価
	4 生徒の課題解決力を高める授業の工夫・改善	5 学びの連続性を重視した小中一貫教育の推進	
	6 安心して学べる環境を整えるため命と人権を 考えるカリキュラムの推進		